

平成 24 年度第 2 回（5 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 5 月 10 日（木）午後 6 時 30 分～8 時 20 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、清水、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、
増田、久保田、後藤、栗本監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者： 高田、山田、山中監事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（4 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 宮島会長候補推薦枠 8 名（新潟県、山梨県、長野県、埼玉県、東京都 2 名、愛知県、奈良県）が決定した。
- ・ 4 月 15 日臨時理事会を開催し、5 月 26 日の総会議案について検討した。
- ・ 平成 24 年度議決権行使書を会員個人宛に郵送、未送付者リストを各支部に送り催促する事とした。
- ・ 米坂副会長を参議院議員候補推薦者に理事会で決定した。

2. 近臨技

4 月 14 日（土）15：00～17：30 近臨技会議を開催した。

- ・ 宮島新体制に向けて近畿から提案および要望を挙げて行く。
- ・ 日臨技関西支部学会（和歌山）は 3 団体同時開催と決まった。
- ・ 京臨技と和臨技は 4 月 1 日を以って一般社団法人に移行した。
- ・ 兵臨技と滋臨技は 4 月 1 日を以って公益社団法人に移行した。

3. 事務局

〈総務部〉4 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・ 平成 24 年度の総務・会計部会の体制について検討した。
- ・ 平成 24 年度第 1 回定期総会について検討した。
- ・ 賛助会員への対応について検討した。
- ・ 会員受付システムについて検討した。
- ・ 新・日臨技会員証への対応について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 4 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉4 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・ 3 月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員 4 月分給与および 24 年度事業費を送金した。
- ・ 23 年度各部決算書の確認を行った。

〈渉外部〉4月17日（火）に部会を開催した。

- ・ 2012年子宮頸がん検診啓発活動（4月14日14:00～17:00）の報告をした。
- ・ 今年度の事業および体制について検討した。
- ・ 看護フェスタおおさか2012について検討した。
- ・ 大放技・大臨技合同フォーラム（平成25年1月19日（土）開催予定）の準備および第1回合同委員会（6月5日（火）開催予定）について検討した。
- ・ 総会について検討した。

4. 事業局

〈情報組織部〉4月19日（木）に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会（8月4日（土）開催予定）について具体的な内容を検討した。
- ・ 他職種合同研修会（9月15日（土）開催予定）について講師の選定をした。

〈地区事業部〉4月19日（木）に部会を開催した。

- ・ 各支部担当理事を決めた（北支部：出野、中央支部：田畑、南支部：後藤）。
- ・ マタニティカーニバル2012（7月7日（土）・8日、大阪南港ATCホールにて開催）について大臨技ニュース6月号にボランティア募集案内を掲載すると共にチラシを同封することとした。
- ・ 北支部自由集会（5月26日（土）、大阪医大にて開催予定、会費：500円（会員）、1000円（非会員）について、内容を「画像診断の基礎」とし、放射線技師に話をしてもらおう予定とし、タイトルは「白黒つけましょう」とした。

〈学部部〉4月10日（火）に部会を開催した。

- ・ 第7回学部部講演会（10月20日開催予定）について検討した。テーマは「呼吸器」とした。
- ・ 各部門事業に関して検討した。
- ・ 総会での質問について検討した。
- ・ 会計会議を開催し、要望・修正点を提示した。

III 他、報告

1. プロモーションコードについて（竹浦副会長）

透明性に関する指針について報告した。

①会員会社の姿勢（企業方針等）

②公開方法（決算等）

③公開時期（2012年度分を2013年度から）

④公開対象

- ・ 研究費開発費等（臨床試験、新薬開発・治験等費用）
- ・ 学術研究助成費（奨学寄付金、一般寄付金、学会寄付金、学会共催費等）
- ・ 原稿執筆料等（講演、執筆、コンサルティング等費用）
- ・ 情報提供関連費（講演会、説明会等の費用）
- ・ その他の費用（接待費等）

2. 東大阪市衛生検査所精度管理委員について（運天会長）

4月理事会で大阪医科大学の池本氏を推薦することに決定したが、現当委員の大倉氏の任期が平成25年3月31日満了であるため、平成25年度4月1日からの次期委員に池本氏を推薦することとした。

3. 吹田市健康展の委員推薦について（田畑常務理事）

平成 24 年度吹田市「みんなの健康展」開催に伴う実行委員に前田富士子氏（ガラシア病院）、松本典久氏（市立吹田市民病院）を推薦した。

4. 研修会受付時のトラブルについて（運天会長）

今年度大臨技行事に参加した近畿他府県会員および技師会から会員証（近畿ロゴマーク入）不携帯時の対応についての問い合わせや要望（今年度日臨技会員証での対応希望等）があったため、近畿他府県の技師会事務局宛に、「所属技師会発行の会員証もしくはこれに代わるもの」の提示が無い場合、非会員扱いとする書面でのお願い状を送信し、会員への広報をお願いした。

5. 看護の日について（竹浦副会長）

- ・ 看護フェスタおおさか 2012（5 月 12 日（土））の参加者は 12：30 に集合する。
- ・ 参加予定者は理事 3 名、糖尿病療養指導士部会から 3 名、エコー検査担当 4 名、尿検査担当 2 名である。

6. 公益法人申請の進捗状況について（運天会長）

- ・ 5 月 14 日に主務官庁に書類ベースで申請し、6 月に電子申請を行う予定。

7. その他

- ・ データ標準化委員会（理事会直下事業）に会長が関与していくことを伝えた。
4 月 26 日にデータ標準化委員会が開催された。
 - ①平成 24 年度の評価対象項目は全項目実施とする。
 - ②評価試料は、5 月 12 日に日臨技で開催される会議後、プロジェクトチームで検討する。
 - ③サーベイの実施日は 10 月 29 日とした。
- 5 月 12 日に日臨技で都道府県精度管理システム説明会と平成 24 年度臨床検査データ標準化全国代表者会議が開催されるので会長も出席する。
- ・ 賛助会員の関西アイエヌエスサービスよりアフラック保険広告の依頼があり、大臨技ニュース 7 月号に同封することとした。広告費用は 50,000 円とした。
- ・ 各部の新世話人へ「個人情報保護法に関する誓約書」の提出をお願いした。
また、世話人委嘱状が必要な場合は、公文書として提出をすることにした。
- ・ 荒木会計部長より平成 23 年度決算報告の説明を行った。
各部会に会計処理の方法を伝えた。

IV. 議 題

1. 平成 24 年度第 1 回定期総会（平成 23 年度決算総会）および新旧役員交流会について（吉本副会長）

- ・ 資格審査委員は、総務部の岡部氏ならびに三上氏をお願いした。
- ・ 新役員の内保田理事ならびに後藤理事に、総会終了後の就任挨拶をお願いした。
- ・ 退任役員に感謝状授与および退任挨拶をお願いした。
- ・ 総会終了後、新旧役員交流会を開催する。

2. 新・日臨技会員証への対応について（吉本副会長）

大臨技行事での参加受付時に、今年度日臨技会員証バーコードが携帯端末で読み取り不能となったため、その対応について検討した。

- ・ 現行の「大臨技行事参加者リスト」を現状況に合ったリスト（新リスト）に変更する。
- ・ 新リストへの記入による参加受付を行うとともに、日臨技生涯研修登録については、会員自身で

実施してもらうこととする。

- ・ 会員自身による日臨技生涯研修登録は期限を定め、一定期限後、該当行事担当者が JAMTIS 上に登録された、該当行事の参加者情報と新リストに記入された参加者情報を照合することとした。
- ・ 「新リスト」および「会員自身による日臨技生涯研修登録処理に関するマニュアル（大臨技世話人用・会員用）」を早急に作成し、大臨技ホームページに掲載するとともに広報することとした。
- ・ 大臨技担当の日臨技関西支部学会開催に合わせ参加者受付用に、機器（パソコン、バーコードリーダー）を購入することとした。

3. その他

1) 名誉会員について

今井前会長を名誉会員とすることについて提案があり、承認された。

2) 救急検査技師認定制度について

4月21日大臨技事務所にて、救急検査技師の資格認定制度について会長と緊急検査部会担当者の打合せを行った。

3) 日臨技平成24年度定期総会議決権行使書について

- ・ 日臨技平成24年度定期総会議決権行使書は、出欠に関わらず必ず返送する。
- ・ 「出席する」にマークしたにもかかわらず書面表決をした場合は、書面表決が優先される。
- ・ 署名欄には必ず自筆で氏名を記入する。
- ・ 全ての議案および第四号議案については全ての候補者にマークをつける。
- ・ 出席者を含め50%に満たない場合は、流会となるため必ず返送する。

以上

理事会議事録確認（署名欄）
